

【取り組みの背景】

日本の高速道路は、1963年の名神高速道路、1968年の東名高速道路をはじめ、供用から30年以上経過した延長が約5割を占めるようになってきており、今後とも安全に利用し続けるためには、橋梁などの老朽化に対応したリニューアル(補修)工事などを適切に実施していく必要があります。

一方で、このような補修工事のうち大規模なものについては、車線規制や通行止めなどが長期間にわたるため、早い段階で運行や旅行計画を見直しできるよう、あらかじめ工事実施時期を公表するよう、物流・旅行業界等の皆さまからも要望をいただいているところです。

こうしたことから、工事によるお客さまへの影響を最小限とするため、高速道路の主要な路線について年度の1年間の工事計画をあらかじめ公表し、高速道路を利用する際の輸送や旅行などの計画に活用していただく取り組みを始めることとしたものです。

【リニューアル工事の例】



床版取替工事



トンネルインバート設置工事